

パソコン

田口恭子さん

ライフル

小松煌さん

ピストル

藤原絆照さん

初の全国大会へ日々研さん

千種高生3人飛躍の夏

栗
宋

千種高校（安栗市千種町千草）ライフル射撃部の2年藤原絆照さん（16）と3年小松煌さん（17）、パソコン部の3年の田口恭子さん（17）の3人が全国大会への出場を決めた。3人とも初の全国の舞台で、この夏の本番に向けて日々、練習を重ねている。（村上晃宏）



全国大会に出場する（左から）田口恭子さん、小松煌さん、藤原絆照さん（安栗市役所）

射撃競技は制限時間内に発射し、的に当たった部分の点数で競う。藤原さんは広島県安芸太田町で25、27日に開催される全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会のチームピストル競技に出場。小松さんは同町で28日に開幕する全国高校ライフル射撃競技選手権大会のチームライフル競技にエントリーしている。

県予選で藤原さんは3位、小松さんは5位に入った。2人とも射撃時にフォームが開ける癖があるといい、細かい修正に余念がない。小松さんは「全国に出場した先輩たちを上回りたい」。藤原さんは「ベスト3を狙う」と力を込めた。

田口さんは、8月10日に名古屋市で開かれる全国パソコン技能競技大会の情報処理技能（表計算）に出場する。制限時間内に出題されたデータから表計算ソフトを駆使してグラフや表を作成する部門で、2月の検定では準2級に合格し、同大会の出場権を得た。「自分の力が発揮できるように楽しみながら臨みたい」と意気込んでいる。